

平成18年
(2006)



喜界 報 誌

6

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No.468

町村合併50周年記念



◀昭和38年ごろの喜界空港 (写真提供〓故田島操氏)

昭和30年代の港・空港

あの日

あの頃



昭和30年代の早町港 (写真提供=故宮島喜蔵氏)

合併50周年と 新庁舎落成祝う

児童・生徒や郷友会もメッセージ

「住民自治のシンボルに」

昭和の大合併で全国の自治体が急激に減少していた昭和三十一年九月十日、旧早町村と喜界町が合併。国策の一つとして「町村合併促進法」が促進される中、両町村の対等合併を断行し、早町に支所をおく条件で、新しい喜界町が誕生した。それから半世紀。町村合併五十周年記念と新庁舎及びコミュニティセンターの落成を祝う記念式典・祝賀会が五月二日、同センター多目的ホールで開かれ、町民、来賓、町関係者等合わせて約三百人が出席した。

第一中学校に隣接し、奄美大島を一望できる景勝地に立つ新庁舎及びコミュニティセンターは、敷地面積一八、六九六平方メートル、床面積三、六二六・二九平方メートル（旧庁舎の二倍）の二階建て。子どもからお年寄りまで安心して利用できるバリアフリーを導入、町民が気軽に立ち寄ることのできる「うるおいのある町づくり」の推進母体として期待される。



くす玉を割って新庁舎の完成を祝う（庁舎正面玄関前）

まず、式典に先立ち加藤啓雄町長、乾和夫町議会議長、徳田毅衆議院議員、弓指博昭県総務部次長（知事代理）、金子万寿夫県議会議員、乾善人全国喜界会連合会会長、重富清一郎区長会会長が庁舎玄関前でくす玉を割って新庁舎の落成を祝い、記念式典に移った。

記念式典は午前九時半にスタート。式典では、加藤啓雄町長が「古来、島にあって親しまれてきた樹々と町民の憩いの場として植栽された町民の森に囲まれた近代的な庁舎で業務をできますことを、関係各

位、町民の皆様方に感謝申し上げます。この厳しい時代に、町民が心と力を合わせ、これだけの大きな事業を成し得たことに誇りと自信



を持って、これからの町勢発展のために一層の努力を注いでいきます」と式辞を述べた。

乾議長は、「よき伝統を守りつつ、未来に向かって『活力に満ちた潤いのあるまちづくり』に努め、住民自治のシンボルとしての新庁舎に恥じぬよう、議会も懸命に役割を務めてまいります」と挨拶。

続く、経過報告では、昭和五十八年の「庁舎建設基金設置条例」制定から平成十八年二月の完成までの概要が説明された。

続いて表彰があり、新庁舎に寄せられた多数の寄贈品の贈り主や町村合併五十周年を

記念し、自治功労者、町政功労者など四十個人・団体に加藤啓雄町長から感謝状。表彰状が贈呈された。

来賓祝辞では、徳田衆議院議員、弓指総務部次長（代読）、金子県議会議員、義永秀親瀬戸内町長（郡町村会長代読）らが、「心豊かで活力に満ちたうるおいの町づくりを目指して、さらに輝きと個性に満ちた町となるよう期待いたします」と述べ、全国喜界会連合会の乾善人会長は「我が心と体を育んでくれた故郷のご恩に感謝し、連帯と共生、忍耐の志を自覚し、郷友力を合わせて喜界町発展に微力を尽くしていく」と故郷への熱い思いがうかがわれる祝辞を述べた。また、町内の小・中・高校の児童生徒からも「未来の喜界島へ向けて」のメッセージが多数送られた。

午前十一時からはアトラクション。

志戸桶十五夜会二十六人の「ミヤクミフミンヤビー」、関西喜界町郷友会の「関西元気音頭」、喜界高等学校吹奏楽部の演奏、エイサー同好会の勇壮な舞いなどが披露され、庁舎ロビー、前庭は来賓者で賑わった。

多彩な芸能で

宴に華添える

吾妻流藤豊会による祝舞「八千代獅子」で幕を開けた祝賀会には、加藤町長や冬柴鐵三公明党幹事長、全国郷友会のメンバーら総勢二百四十人が出席。加藤町長の挨拶の後、中原茂太前全国喜界会連合会会長が「全国喜界会連合会八千人の会員は今後とも町勢発展に全面的に協力し、支

援する」と誓いを述べ、乾杯を捧げた。舞台では、舞踊、島唄、新民謡や即興の詩吟など、多種多様な芸能が披露され、祝宴に華を添えた。最後は、晴永清道教育長が「五十年後、百年後の喜界島が豊かで生き甲斐のある町であるように、新装なったこの新庁舎を全町民が助け合う



会場となった新庁舎（左上は第一中学校）



志戸桶十五夜会のミヤクミ「フミンヤビー」

『結いの精神』で生活する共生・強壯のシンボルとして、全町民が相携えてがんばりましょう」と述べ、万歳三唱で締めくくった。



吾妻流の祝舞

【感謝状団体・個人】

(敬称略)

- 森岡齊四郎／高額寄付者
- 全国喜界会連合会／絵画
- 濱田 ミヤ／壁画
- 邦 豊吉／植樹
- 沖本 隆光／絵画
- 福永代志時／写真「路」
- 西俣 忠信／伝統工芸品
- 林 洋司／
- モニユメント「風礁」
- 喜界ライオンズクラブ／
- モニユメント「地球人宣言」
- 折田 國雄／ソテツ

【表彰団体・個人】

(敬称略)

自治功労部門

▽歴代議員

- 思八千男(九期三十六年間)
- 得本維宗夫(四期十六年間)
- 伏見 巖(三期十二年間)

▽歴代三役

- 巖 泰三(五年十一月間)
- 撰 隆恵(十五年三月間)
- 説八十三(五年三月間)

▽元喜界町職員

- 重山 靖(二十五年間)
 - 大山道夫(二十九年二月間)
 - 大倉米二(三十年二月間)
 - 生島常吉(三十一年二月間)
 - 松田一美(三十五年二月間)
 - 本山満宜(三十二年六月間)
 - 太田清一(三十三年一月間)
 - 吉岡眞太郎(三十年六月間)
 - 龍田義郎(三十一年十一月間)
 - 森元一敏(三十一年間)
 - 松元彦三郎(三十四年二月間)
 - 熊本 要(三十四年二月間)
 - 早川 郁(三十二年七月間)
 - 岡田長久(三十四年四月間)
- 産業功労部門**
- 奄美海運株式会社
 - マルエーフエリー(株)
 - 日本エアークommunicuter(株)
 - 長島商事(株)
 - 生和糖業(株)
 - 九州電力(株)新喜界発電所

●喜界町の未来●

へのメッセージ

掲載のメッセージは町内の小・中・高校の生徒の公募から選ばれ、5月2日に行われた町村合併50周年・新庁舎落成記念式典で発表されました。
次代を担う喜界町の児童生徒がワーチャガシマの未来に寄せたメッセージを紹介します。

これからの

喜界島

上嘉鉄小六年

作田 いづみ

少しずつ変わり始めている喜界島。ぴかぴかに輝く新しい役場。一つもなかった信号



機ができたこと。新しいレストランなど、新しい暮らしが始まっていくようで、胸がわくわくしてきます。ところが、建物だけは増えていくのに、島の人口は減っていくばかりです。

最近、喜界島の高校生が鹿児島や東京の大学などに行つて、島を離れていくことを聞きました。喜界島にいても、働く場所がないからなのでしよう。そういうわたしも、きつと高校を卒業する時は、島を離れることを選ぶでしょう。安心して暮らせる喜界島にするために、私がこの島に望むことは二つです。

まず一つ目は、自然を残すということ。建物が増え

ると、その分、空がせまくなります。青々としたサトウキビ畑や、美しい花、そしてチヨウラの姿も減ってしまうことでしょう。一度失われた自然は取り戻すことは難しいといわれています。

この喜界島のすばらしい自然は、わたしたちの宝です。いつまでも守ってほしいと思います。

二つ目は、若いひとたちの働く場をつくってほしいということ。島に暮らしたいという思いがあっても、収入がなければ生活していくことができません。

わたしたち人間が生活していくためには、豊かさや便利さが欠かせません。その一方、今の喜界島が持つ自然の美しさを失ってははいけません。自然と人間が共に幸せになれる島、それが未来の喜界島であってほしいと願っています。

観光から

人口増加目指して

第二中二年

伊集院 恵



喜界島のこれからも続くだろうと思う問題点は、人口減少だと思えます。

わたしが一番身近で感じている事でもあります。なぜなら、学校の生徒数が年々減ってきているからです。昔は、何百人かの生徒が通っていたこの第二中学校も、今では二十人ほどのとても小さな学校

になりました。人数が少ないと出来ない事が多くありません。喜界島の人口が増えないのは、なぜなのか考えてみると二つの理由が考えつきました。

一つ目は観光場所があまり知られていないことです。二つ目は、空き家がないことです。引っ越してきたいと思っても家がないと住めません。特に、観光場所は喜界島へ旅行に来てくれた人へアピールできる必要要素です。だから、積極的に高めていくべきだと思えます。例えば、わたしならオオゴマダラ蝶などが飛んでいる季節に、百之台や喜界島の史跡などを巡るウォークラリーのようなイベントがあつたら、うれしいと思えます。そして、観光とは少し異なりますが、歩道に年中咲いているような花を植えれば、島の印象も更に明るくなるような気がします。

このような工夫をすれば、島外から遊びに来たり移住して来る人も増え、人口もどんどん増えていくのではないかと思います。

喜界島の人口を増加させて、わたしは学校で沢山の友

達をつくり、色々なことにチャレンジしてみたいです。そして、未来の喜界町が活気あるようにしていきたいと思っています。

喜界島らしさ

喜界高校商業科二年

徳 和 樹

喜界町は、都会と比べると人口も少なく、町民全体が楽しめるような娯楽施設もわずかしかない。

そこで、都会にはない海や自然を生かして未来の喜界町が今よりもっと明るく希望のある町になるために、私は二つの事を考える。

一つ目は、島外からも人が集まるようなイベントを開催することである。

喜界島の豊かな自然を利用して、国内だけでなく、全世界に呼びかけたトライアスロン大会を開催してはどうだろうか。多くの参加者が喜界島を訪れば、島の経済効果にもつながると考える。

その費用をテレビコマースナル等の広告費用とし、全世界に喜界島をアピールすることができると。観光客や移住者が増加すると、もっと島が

活気づくのではないか。ただ、トライアスロン大会を開催するといっても、参加者の宿泊確保や交通手段の問題等があるが、このような大会を実施することは、島にとって大きな発展につながるはずである。

二つ目は、農業に関すること。喜界島の大きな収入源であるサトウキビ生産は、これからは守っていかなくてはならないが、後継者不足という大きな壁が存在している。

そこで、働きたくても働くところがない、いわゆる失業者を全国から喜界島に呼び寄せ、島に住むという条件で農業に挑戦してもらおうという考えである。

利益が取れるまでは、町が



生活費を援助し、町の農業従事者の指導のもと農業の経験を積み、農業のすばらしさを知ってもらおうのだ。ある程度期限を決められ、そのまま島に残る人が、少しでもいれば農

「夢をもつ」——最近、教育行政の取材を通して、よく耳にする言葉である。

今春、喜界高校を巣立ち、幼い頃から抱き続けている「夢」の実現にむけて頑張っている一人の若者に、現在の姿を綴ってもらった。

夢

久保 恭平

(福岡在住・湾出身)



私は幼い頃、子供心に漫画家というものに憧れました。はつきりとした理由は思い浮かばないけれど、た

業後継者不足や人口減の歯止めにもなるだろう。

今、述べた二つの考えは、実施するのにかかる経費と労力がかかるだろう。しかし、明るい喜界島を維持して行く

ぶん、幼い私が漫画に感動したのと同じように、自分もだれかに感動を与えたい、そう思ったからじゃないでしょうか。成長した今も、同じ憧れを抱き、夢を見続けています。そして、夢を目指し、その進路を選びました。

夢を追い続ける、と言えは聞かえは良いかもしれませんが、これは僕の我ままです。今まさに進むようとしている道には幾多の不安があり、それは私だけの問題ではありませんが。将来の不安定さ、運も絡む実力の世界、そして経済的な問題。しかし、それらの問題が現実にある中、私の我ままを両親は許してくれました。

現在私は、専門学校に通い、素人である自分の未熟な実力を高めるべく、毎日をまさに寝る間も惜しんで勉強に明け暮れています。徹夜が続くことにも慣れるほどの時間を費やして。

には、それだけのリスクが必要になる。

未来の喜界島のために、町民全体が協力すれば、もっと豊かな明るい喜界島になることは間違いないと思う。

絵が好きで、今まで色々描いてきたつもりでした。独学だけど、色々吸収してきたつもりでした。しかし、周りには、少なからずその力を形にできた人ばかり。圧倒的に経験の差があり、同じ学校に同期で入学したとは言っても、すでにスタート地点が違いました。

そんなレベルの違いに圧倒され、頑張っていたつもり、という欠片ほどの自信さえ失いそうになることもありましたが、私はめげませんでした。まだ自分には何も身につけられない。いくらでも吸収できることはあるんだからと、決意を新たに頑張ろうと心に決めたのです。

まだまだ先は果てしなく、見えない道のりです。でも、夢を現実にするために、なにより、こんな私を支えてくれる両親のためにも、退かす諦めず、尽力したいと思います。

新庁舎を飾る寄贈品

新庁舎落成を記念して、内外の八個人・二団体から「絵画」、「壁画」、「庁舎外構整備」、「植樹」、「写真」、「伝統工芸品」、「モニュメント」の寄贈があり、役場を訪れる人々の目を楽しませている。

筆力豊かに風景や人物を描いた「絵画」、五十匹のオオゴマダラが優雅に飛び交う「壁画」、庁舎周辺を緑で覆う「庁舎外構整備」と「植樹」、海外の路を壮大に収めた「写真」、伝統的な技術・技法を後世に伝える「伝統工芸品」、螺旋状に刻み込まれた百八の階段が島の永遠の繁栄を願うモニュメント「風礁」、地球人として平和と繁栄の確立を唱う

「地球人宣言町の碑」。
喜界島の風土や歴史、自然など、寄贈品のひとつひとつに寄贈者の思いが込められている。役場へお越しの際は、ぜひ楽しんでみては。

①外構整備 森岡 齊四郎氏



③壁画

濱田 ミヤ氏 (川嶺出身)

50周年にちなんだ50匹のオオゴマダラと町花リュウゼツランで現在の喜界島の自然をイメージした作品。



②写真「路」

福永 代志時 氏 (上嘉鉄出身)

「20代の路は、水たまりがあったり、石がところどころに露出したデコボコ道。すんなり歩ける道ではなかった。しかし、水に濡れ足をくじいたりしながらも、若さが、くじけずに真っ直ぐ歩くことを後押ししてくれた。」 (作者解説より抜粋)



④モニュメント「風礁」 (有)石彩工芸

人間の煩惱と同じ108の階層がらせん状に刻まれたモニュメントは、隆起サンゴ礁の島をイメージしたもの。上昇するらせんに町の永遠の繁栄を願う。



⑤伝統工芸品「花籃」

西俣 忠信氏



⑦モニュメント「地球人宣言」喜界ライオンズクラブ (写真は除幕式)

植樹 邦 豊吉氏



⑥ソテツ

折田 國雄氏

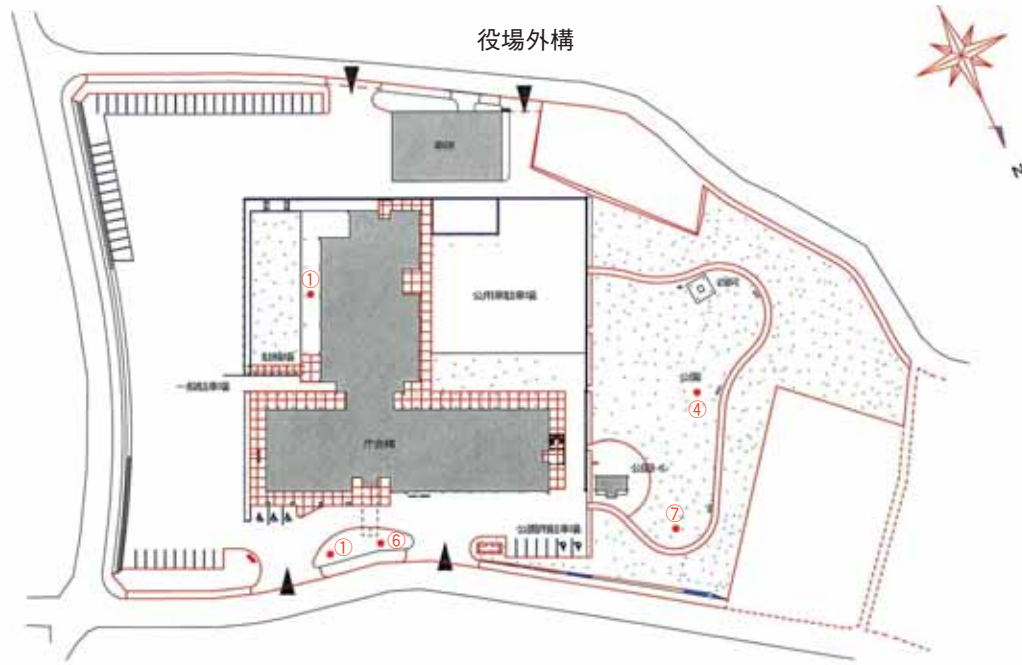


⑨絵画「睡蓮」
沖本 隆光氏（阿伝出身）



⑩絵画「プリンセス・ストリート・ガーデンズ・エジンバラ」

⑧絵画「白いシャツ」
武田 信男氏（伊実久出身）
寄贈／全国喜界会連合会



寄贈品と同じ番号が下の二つの図に記入してあります。

役場庁舎平面図



喜界島に学びの風を！

喜界町学力向上対策会議

家庭学習サポート教室『やるき塾』

「わーちゃー島の子どもは、やればできる」—— 将来の喜界島を担う人材を育成しようと教育改革に取り組んでいる晴永清道教育長は、子どもを信じ、さらなる学力向上を目指す。ここで、現在の取り組みの一端を紹介する。



晴永教育長は、子どもの学力向上を通して「喜界島に学びの風を吹き起こそう」と五

月九日、町コミュニティセンター多目的ホールで「喜界町学力向上対策会議」を初めて開催。各集落区長や議会代表、民生委員など各界・各団体から総勢五十七人が出席した。

会のねらいは、本町の最重要課題として位置づけられている「基礎学力の向上」。「吹き起こそう学びの風、育てよう確かな学力」のスローガンを掲げ、学校・地域・家庭を取り込んで方策を立てていくもの。

冒頭、晴永教育長

は、「子どもたちが自分の力を十分に発揮できるように学力を身に付け、社会に出たとき、就きたい職業に就き、とりたい資格をとって、社会に貢献するにはどうすればよいか。家庭や地域はどうあるべきか。今後の方策として具体的な話題を出して研究協議を進めてほしい」と要請した。続いて、「これからの時代に求められる学力」と題し、民間代表と喜界高校からの提言があった。学校の取り組みは、小・中学校代表二人が発表した。

提言と取り組みの概要は次の通り。

▽喜界町（民間代表）の提言

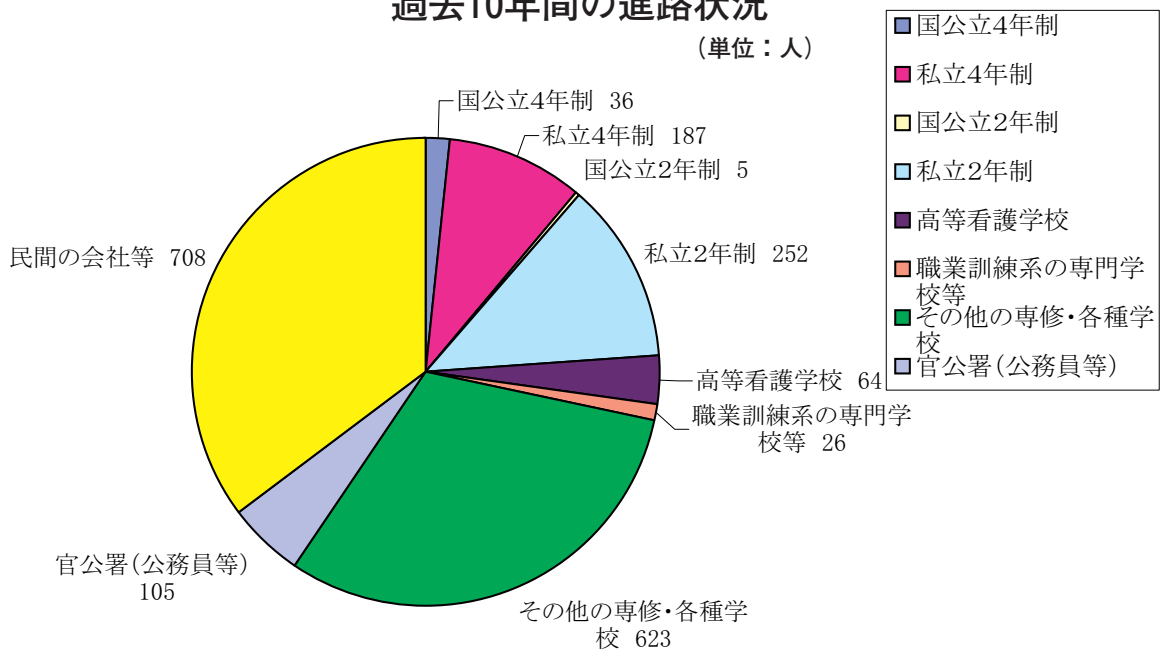
園田直樹会長（喜界ライオンズクラブ）

景気と人材確保

島は四、五年前から緩やかに景気は上昇しているが、景気が悪化すると人材の確保は難しい。景気に左右されない職を持つことが大事である。「あいさつとパソコンができること」が人材確保にも繋がる。

過去10年間の進路状況

(単位：人)



子育て

第一に基本的な習慣を身に付けさせること。「朝ご飯をしっかりと食べる」、「相手の目をしっかりと見て、あいさつをする」、「正しい日本語を使う」など。核家族が多い現代だからこそ、じいさん、ばあさんや地域の人々、昔からの習慣・慣習など、いろいろなことに接することが必要だ。

また、島の言葉でいう「ドウチン、タマシ」がある子を育てあげたい。

▽喜界高校の提言

奥山 嘉邦教諭

高校から見た学力の実態

●基礎学力の未定着

●考える習慣の未定着

●宅習習慣の未定着

三月入試を強く意識した積極的な取り組みがなくなつたため、学習内容について繰り返し学習する姿勢が全体的に弱まっているのではないかと。

学力向上の意義

学習内容について、理解が深まると学習成績が向上し、次のような成果が期待できる。

一 授業に対する生徒の姿勢が積極的になる。(理解力のさらなる向上)

二 授業中の態度が受け身から能動的になると、考える姿勢と習慣が身に付き、状況判断力の育成にもつながる。

三 高度な上級学校への進学を実現して高い見識や技能を修得する可能性を広げ、有用・充実した人生へつながる。

四 就労や社会奉仕への意識も深まり、自らの力を進んで社会に活かし、貢献する喜びを獲得していける人間形成につながる。

喜界町に求める学力向上への協力の

一 学校・家庭・地域が連携して学力向上に対する雰囲気づくりを担う。

二 考える習慣を定着させて理解したことをきちんと覚える授業を実践することで「わかる喜び」を通して、学習に対する積極性を育てる。

提言に続いて、登山典壽校長(上小)と興洋一校長(早中)が「学校の経営の方針」「学校教育目標」「家庭学習」など、学校が抱えている課題や今後の指導、解決策などを説明した。

次は、研究協議に移り、「地

域の集落公民館を子どもたちの宅習の場に提供できないか」、「特進学級の設置を」、「島興しができる人財の育

今年も73人が参加

「友だちにやさしく、下級生に親切に、上級生にいていねいに・・・」と「約束事」を決めて、毎週日曜日、町コミュニティ多目的ホールで開かれている塾がある。

成」など、教育環境整備について各界代表から建設的な意見が多く出された。

町教育委員会主催の喜界町家庭学習サポート教室「やるき塾」。

町内の小学校四年生以上を対象に、十月二十九日(前期)までの毎週日曜日、午後二時から五時まで「ドリル・宿題」などに取り組む。



同塾に参加している久保廉平君(湾小六年)は、「勉強で分らないところを、おにいちやんに教えてもらって、わかった時がうれしい。塾へ行くのがたのしみ」と学習意欲満々。

教室のねらいは、異学年による教え合いや、学習の素晴らしさ・楽しさを味わい、指導者(主に教頭先生)に学習の仕方を学ぶことで、休日の望ましい学習習慣を身につけて、「家庭学習」を習慣化して基本学力の定着を図ること。塾は昨年度から開設しているが、今年も「やる気」のある児童生徒七十三人とその保護者らが集まり、五月十四日、開講式があった。冒頭、晴永教育長は「自分の力で勉強する訓練です。最後までがんばってください」と激励。早速子どもたちは、自宅から持ってきた宿題やドリルをひらき、学習に励んだ。

竹下指導主事は、集まった保護者らに、「今が人生のがんばりどころ。子どもたちのやる気・意欲を育てるのは、地域、学校、保護者です。子どもを取り巻く集団の質を高めていきたい」と説いた。



産業振興の成果を見届ける

奄振開発審議会委員ら島内視察

国土交通省の奄美群島振興開発審議会委員と国、県の担当者が五月十七日、視察と意見交換のため来島。酒造会社、ゴマ農家などを視察後、町コミュニティセンターで畜産農家、ゴマ農家らと意見交換をした。

視察に参加したのは、宮廻甫允会長（鹿児島大学法文学部教授）ら委員九人と、国土交通省、農林水産省、文部科学省、経済産業省、鹿児島県



の担当者、中野実県大島支庁長ら。一行は、酒造会社、畜産農家、ゴマ生産農家、百之台公園、さとうきび株出管理展示ほを視察し、奄美群島振興開発事業が産業振興にどれだけ結びついているか成果を見届けた。

「香り」と「生産量日本一」を誇るゴマ栽培農家のひとり、池田学さん（小野津）は、委員らに「五年前にUターンし、当初は栽培面積を確保するのも大変だった。現在は、機械化が進んで省力化が図られ、経営面積は拡大している」と説明した。

意見交換会では、生田正信（キビ）、池田学（ゴマ）、井上敏郎（トマト）、矢竹毅（トマト）、思照也（畜産）栄和子（畜産）、永井美香子（スプレー菊）の各氏が出席。地下ダム効果、後継者育成問題、加工食品のPR活動など、農業経営の在り方、将来展望に意見が集中した。

地下ダムの効果の問いに、農家は「以前は、一日中、水

運搬などに追われていたが、現在は水管理の労力が削減され、管理作業にも手間が入ることで収量が上がった」と評価し、「散水による労力が減ったことで、面積拡大に繋がる」と語る。

奄美群島振興開発事業で導入が進んでいる平張りハウス（防風ネット）による防風対策施設の効果も強調し、畜産農家は、「地下ダムの水と防風ネットの併用で魅力ある作物が生産できる」と構想を述べた。

後継者問題に関しては、「なかなか頭がいたいところ。機械化による効率的な農業経営で乗り切りたい。海外研修で視野が広められ、農業経営の楽しさを学んだことをPRして、後継者の育成をしていく」と展望を語る一方、新規就農に関して、「初期投資に難がある。補助率を上げてもらえば、若手も取り組みやすい」とした。

これを受けて委員は、「生産者ではなく、地域ぐるみ



奄振事業で整備が進む荒木漁港

で作った商品に付加価値をつけて、PRしていく時代。

マーケットの動向にも敏感に対応し、需要に応じて売り出しいくことが経済循環を高めると助言。

宮廻会長は、「以前は水の制約要因があったが、地下ダムの完成で、農業にプラスの影響を及ぼし、大きく前進している。奄振事業による農業振興は、明確な形がでてい」と評価。しかし、「課題は後継者問題」と今後奄振事業でどこまでやれるか検討してみないと分からないが、農業・企業・商業の経営基盤を固め、生活に将来性ももてる継続的な発展が必要だ。そのためには、奄振事業が契機板としての役割を果たすことが重要な意味を持つ」と奄振事

業の必要性を説いた。

奄美群島振興開発審議会

奄美群島の自立的発展並びにその住民の生活の安定及び福祉の向上を目的として振興開発の調査、審議に努める。

審議会委員

▽宮廻甫允会長（鹿児島大学法文学部教授）

▽松本英昭（地方公務員共済組合連合会会長）

▽出水沢藍子（作家）

▽伊藤祐一郎（鹿児島県知事）

▽金子万寿夫（鹿児島県議会議長）

▽川島毅（港湾空港建設技術サービスセンター理事長）

▽新田弘子（前鹿児島県社会福祉協議会すこやか長寿社会運動推進センター所長）

▽濱田百合子（奄美情報誌「ホライゾン」編集長）

▽平安正盛（大島郡町村会会長）

▽吉見美香（吉見メディア企業代表）

▽若林勝三（日本地震再保険取締役会長）

※伊藤知事と金子県議会議員は欠席。

町村合併50周年記念 第25回 喜界町夏祭り 7月29・30日に決定

プログラム

7月29日(土)

相撲大会(町相撲場)
ミコシ・綱引き
歩行者天国
(湾・赤連商店街)

7月30日(日)

フネインカー競漕
12:00

漁船海上パレード
(決勝前)

婦人会踊り

八月踊り(嘉鈍集落)

芸能

演芸・歌謡ショー
17:30(スギラビーチ)

花火 21:00



今年の夏祭りの日程が決まりました。
会場も新たにスギラビーチをメインに開催いたします。
島内・島外の皆さん、節目の年です。ぜひ、お越しください!

Town まちの話題 News

地下ダム施設に驚く



し、最後の喜界を訪れた。当初の予定では、五月九日に喜界に入る予定だったが、台風接近で急きょ予定を変更した。

歓迎会で、加藤町長は、「喜界は畑地が広がる中に集落が点在している素朴な島。現在、減農薬で生産量日本一のゴマやそら豆の在来品種が脚光を浴びている。農産物加工センターでさらに研究・開発し、付加価値を高めた特産品にも力を入れていきたい」と紹介。

同会の田中達三会長は、「地下ダムの施設には

郷友会の訪問相次ぐ

ふるさとの存続は大きな希望

● 関西奄美会 ●

新庁舎落成・町村合併五十年記念式典への出席を兼ねて帰郷した関西奄美会、各地区郷友会会員と加藤啓雄町長らが五月二日、町コミュニティセンターで歓迎交流会を開いた。

冒頭の挨拶に立った加藤啓

驚いた。命の源泉である水を貯えられる基盤整備が順調に進んでいるのは、町政の力量だ」と温かい言葉を送った。また、同会を代表して、東京喜界会の森昭男会長が「教育の研究などに」と図書券を贈呈。これを受けて晴永清道教育長が、「豊かな喜界島をささえる子どもたちの人材育成の一端に、大事に使わせていただきます」と感謝の意を表した。森会長は、「あらためて郷里の良さを知ること、更なる愛情が生まれ、しま興しに繋がるアイデアも提言できる」と語り、百之台観光を終えた一行は帰路に就いた。

雄町長が「郷友会の皆様の島を思う気持ち、五十年という歴史に残る今日をあらしめた」と感謝を述べると、植村映三郎関西喜界会会長（中里出身）が「大島郡喜界町として島の名前が残ることに大地に足がついたような安心感を覚える。都会で暮らす我々には、ふるさが存続するこ



とで大きな希望がもてる」と喜び表した。

「ハッピーバースデー」のメロディーが流れる中、加藤町長は花束を抱えて得本嘉三さん（関西喜界会顧問・出身）の席に歩み寄った。同日、誕生日を迎えた得本さんは、予想外の贈り物にビックリ。「新造船『フェリーあまみ』での帰島、式典、祝賀会、歓迎会、誕生日」と記念づくりの得本さんは満面の笑みを浮かべていた。

歓迎ムードに包まれた会場では、武術「羅漢拳らかんけん」や芸能などが披露され、至る席で旧交を深め合う姿が見られた。

翌日、島内観光を楽しんだ一行は、四日、喜界を後にした。



喜界 ↓ 徳島 八百キロの旅

役場職員の伊地知告さんが、5月6日にマーキングして放ったアサギマダラが5月16日、約800キロ離れた徳島県鳴門市上坂町で捕まった。松島小学校の児童が捕まえ、確認された。

会員確保呼びかける

平成18年度町母子寡婦福祉会総会

平成十八年度喜界町母子寡婦福祉会総会が五月二十日、町コミュニティセンター多目的室で開かれ、約八十人が出席した。体験発表、講演のほか、就任一年目を迎えた進リュウ子会長の発案で設けられた「リラックスタイム」もあり、会員は相互の親睦を深めた。

開会の挨拶に立った進会長は、鹿児島県母子寡婦福祉連合会テーマの一つ「児童扶養手当の受給五年後の見直しに対する陳情」に触れ、「皆様の協力で、署名活動は大島郡区でトップの成績。会員二人の就労支援にも深いご理解を示



平成十八年度の基本方針を「母子家庭の母などに対する自立支援」とし、具体的な努力目標を「若星会の組織の確立と、活動の活性化」「自立をめざして生活基盤の確立」「健全な子どもの育成」とする事業計画案と予算案を原案通り承認した。

続く体験発表では、佐田由香合さんが自らの十年間を振り返って子育ての「難しさ、喜び」を語り、「気持ちいい汗

をかいて働けるのも母子支援のおかげ」と会に対する感謝を述べた。

真剣に考えようゴミ問題

平成18年度町婦人会連絡協議会総会



総会は「人生、笑ったり、泣いたり」と題する富田英次さんの講演で幕を閉じた。

▲山本教授の講演に聴き入る参加者



会場の外でハウライカガミを配る観光協会

喜界町婦人会連絡協議会総会が五月二十一日、町体育館で行われ、平成十八年度事業経過報告、決算、平成十七年度努力目標及び事業計画予算案が全会一致で承認された。

開会のあいさつに立った吉本敏子婦人会長は、「今年本町村合併五十周年・新庁舎落成と記念すべき年。心豊かな生活ができる今があるのは、様々な戦争がある中で先輩達が強く生き抜いたおかげです。今まで築いてきた豊かな

人情や自然を、今のような形で次の世代に引き渡しましょう」と述べるとともに「地域を母体として学習と実生活を誇りとする婦人会が積極的に取り組んでいるのがゴミ問題。買い物袋持参運動でゴミ減量に努めてきたが、まだまだ浸透しないのが現状です。ゴミについて今一度見なおし、真剣に考えましょう。一人ひとりの小さな努力が必要

です」と呼びかけた。

続いて加藤啓雄町長が「ゴミ問題について、あらゆる機会を通じて取り組んでいる姿」に感謝を表し、乾和夫議会議長らが祝辞を述べた。

協議では、平成十八年度の中心テーマを「共に生きる地域社会をめざして、く新世紀をいきるために」と定め、①地域づくりは組織の充実から②心を育てる教育はまず親・大人の生き方から③地域福祉活動を積極的に進める。「健康鹿児島二十一」にむけて④生命の原点(自然環境・食・農)に本気に向かい合おうーなど、七つの努力点と具体的な実践内容を決定した。

総会後は、山本雅史鹿児島大学農学部教授の『喜界島のミカン文化とクリハー・ケラジミカンに含まれる抗ガン物質』と題する講演。「喜界島の在来カンキツ(特にクリハー!ケラジミカン)は、抗がん作用などが他のカンキツよりも優れている。島のカンキツを食べて健康維持・増進を」と呼びかけ、「カンキツ類を軸とした島の活性化につなげては」と期待を込めて語った。

「教育一筋四十七年」

折田國雄さんに瑞宝双光章



今年度の春の叙勲で、教育功勞によって瑞宝双光章を受章した「教育一筋四十七年」

の折田國雄さんが五月十一日、国立劇場で行われた伝達式に出席。勲章・勲記を受けた後、皇居豊明殿で天皇陛下に拝謁する榮譽に浴した。

折田さんは昭和二十二年四月、川内市立平佐東小学校教諭として着任以来、大島教育事務局瀬戸内町駐在指導主事など歴任し、昭和五十七年十二月早町中学校を依願退職。翌年一月、喜界町教育長に就任し、平成六年一月退職までの四十七年間、教育行政に携わった。

折田さんは教育職員として初等・中等教育の充実・振興に努め、本県の学校教育に多大な貢献をした。温厚な人柄

と豊かな識見で子弟の教育にあたり、児童生徒はもとより教職員や地域住民の信望を集め、教育者の範とされ、教職生活のすべてを離島へき地で過ごし、へき地教育の充実・発展に貢献した。

教育にかけた四十七年の思いを折田さんに綴っていただいた。

四十七年間、先輩・同僚・地域の方々のご指導ご援助のもと多くのことを学ばせてい

いただいたことに感謝申し上げます。

今でもことある毎に、それぞれの年代の教え子たちとの交流があり、教職にあたったことの幸せを感じています。

中途退職して、教育委員会に入ってから、行政当局、町民の人材育成にかける熱情に敬意を表するとともに、それに応える努力をしなければと、決意を新たにすることに。

この機会に、町の財政状況が厳しい中で、子どもたちのために、どれだけ投資し援助されたかを皆様にお伝えしたいと思えます。

在任中の昭和五十八年から平成六年までの十一年余にわたって校舎改築を進め、今も続けられています。

その間、文部省(旧)の制度や規制緩和もあって、奄美で先がけてオープンスペースの校舎を校区の特色に配慮して建築することができました。

全校に、パソコンを配置し教育環境を整備。ALT(英語指導主事)や指導主事の人材配置については、町単独事業で取り組み学校指導法改善が図られました。

また、疎開の縁で姉妹町の菱刈町子どもたちと交流が未だに続けられていることは

喜ばしいことです。

そして、人材育成には、長島文化財団の「喜界育英会」や東京で発足した「喜界の教育に協力する会」で毎年二名ずつ上京し、指導力の向上を支援し、教育振興を図っていただきました。

本町の将来を託す子どもたちに大きな期待とそれなりの投資もされていることを思い感謝の念と敬意を表することです。

今後は、これらのことも念頭に置いて、微力ながら行政へ参加することで町の発展を願って参りたいと思えます。

世のため、人のために尽くして

町内の小中12校に寄付金

尾崎 喜和子さん(赤連)



「社会に出て世のため、人のために尽くして」——赤連在住の尾崎喜和子さん(83)は町内の小中学校十校に二百万円を寄贈した。

尾崎さんは、十数年前にも、教育委員会を通して、子どもたちのために学校図書購入費として三百万円を寄附している。

教育委員会は五月十六日、第一中学校(金久義人校長)に尾崎さんを迎えて、感謝状と記念品の贈呈式を行った。

晴永清道教育長は「読書は優しい心、感動する心を育てる。尾崎文庫として使わせていただきます」と感謝の意を表し、生徒を代表して武田典子さん(三年)が「本から得るものは、数えきれないほど

たくさんあります。寄贈してくださった本の一冊一冊を、大切に使っていきます」とお礼を述べた。

尾崎さん宅には、「読むのがとっても楽しみ」、「きつとやさしそうな顔をしているんだろうな」、「毎日、新しい本を借りて読んでいます」など、感謝の気持ち綴った子どもたちの手紙が届くという。

◆町民の皆様へ◆ 架空請求にご注意ください!

最近、「**最終通知書**」と「**電子消費料金**」未納分と記載された**ハガキ**が送りつけられているケースが多発しております。

請求額（内容明細）が記載されていないのと、余裕のない裁判最終期日が特徴です。



このようなハガキが送られてきたら、次のことに注意してください。

- 注意1 記載されている**電話番号に絶対電話はかけない。**
 ※相手に電話番号教えるとともに金額を請求される。また嫌がらせを受ける等がある。
- 2 不安であれば、**大島消費生活相談所・警察署（喜界幹部派出所）**か、
 または**役場住民課消費生活係に相談する。**
- 3 もし**相手先から確認の電話がきたら、人違い等と無視**をする。
- 4 万が一のこともあるので、表の受取人(本人若しくは家の名前を記載している)に確認をしてもよいが、不安をあおりたてる場合もあるので注意する。

ハガキの例

民法指定消費料金未納最終通知書

管理コード ○○○○○

この度御通知しましたのは、「民事指定消費料金未納」についてです。貴方の未納されました料金については当局までご連絡下さい。

こちら法務省許可通知書となっておりますので、連絡なき場合は、止むを得ず裁判所からの書類通達書、指定裁判所への出廷となります。又、裁判後の処置と致しまして給与の差し押さえ及び動産物、不動産物の差し押さえを強制執行させていただきます。又、当局と執行官による「執行調書」の交付を承諾して頂くよう、お願いすると同時に、債権譲渡証明書を一通郵送させていただきますので、承諾の上ご返送下さい。尚、書面での通知となりますので、プライバシー保護のため、ご本人様ご本人様からご連絡頂きますようお願い申し上げます。ご不明な点は、当局職員までご連絡下さい。

以上を持ちまして、最終通達とさせていただきます。

裁判取り下げ最終期日 平成○○年○○月○○日

○○局○○○○

〒000-0000

東京都○○区○○

(代表) TEL 03-000-0000

電話受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

相談窓口

大島消費生活相談所

52-0999

名瀬警察署喜界幹部派出所

防犯係 65-4309

役場住民課

消費生活係 65-1111

お知らせ

税務職員(税務大学生)募集

人事院と熊本国税局では、税務職員(税務大学生)を募集しています。

税務職員には、仕事の性質上、豊かな人間性と高度の知識が要求されます。

国家公務員採用Ⅲ種(税務)試験に合格し採用されますと、全員が税務大学校普通科に入校し、一年間、大学水準の教養と税務職員として必要な専門知識を修得するための教育を受けることになってい

ます。

【申込書の受付期間】

六月二十日(火)～六月二十七日(火)／通信日付印有効

詳しくは、

大島税務署総務課 ☎0997(52)4321へお問い合わせください。

経営安定のための商工会事業

商工業者の経営危機を回避し倒産を未然に防止するため、鹿児島県商工会連合会は、国の特別事業に係る「経営安定特別相談室」を設置しています。

この相談室では、弁護士、中小企業診断士、公認会計士、税理士などの専門家が、無料で指導や助言を行っています。

町職員募集

平成18年度喜界町職員採用候補者試験を次のとおり行います。

◇採用職種 一般事務

◇採用人員 若干名

◇受験資格

昭和54年4月2日から平成元年4月1日までに生まれたもので高等学校以上を卒業した者(平成19年3月卒業見込みの者を含む)

◇第1次試験日時・会場

平成18年9月17日(日)

コミュニティセンター

◇申し込み受け付け期間

平成18年8月1日(火)～8月17日(木)

*郵送の場合、当日消印有効

◇問い合わせ先

申し込み書、その他詳しくは役場総務課(65-1111)へお尋ね下さい。

ます。ご相談の申し込み、相談内容は、秘密厳守されます。

経営が不振に陥る心配があるなら、早期に適切な手を打つことが重要なポイントです。ためらわず、できるだけ早めにご相談ください。

▽問い合わせ先

喜界町商工会

☎0997(65)0169

鹿児島県商工会連合会

☎099(226)3773

標準小作料について

農地の貸し借りにおける小作料は、当事者間の話し合いにより決めるのが原則です。小作料を定める目安として、農業委員会が地域の実情に即した標準小作料を定めています。

小作料は毎年支払いが原則で、収穫時のみの支払いは、トラブルのもとになりかねません。農業委員会としては、農業経営基盤強化促進法による賃借権の設定をお勧めします。

さとうきびの国からの直接支払い(品目別経営安定策)が19年産から導入されます。この算定基礎になる経営面積

国民年金だより

平成18年7月から、

「国民年金保険料の免除制度」が利用しやすく変わります。

◆国民年金制度は、20歳以上60歳未満の全ての人が加入する制度です。老後の老齢基礎年金のほか、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取ることができます(受け取るには一定の条件があります)。

平成18年度の国民年金保険料は、月額13,860円ですが、経済的な理由等で保険料の納付が困難な場合は、申請手続きをしていただくことにより、保険料の納付が免除または一部納付(一部免除)となる制度があります。

◆全額免除・若年者納付猶予の継続申請

前年所得が少ないことにより全額免除・若年者納付猶予を承認された方は、申請書にあらかじめ継続申請の旨を記載していただくと、翌年度以降も引き続き全額免除・若年者納付猶予の審査を行います。このことで毎年の申請を省略できます。ただし、審査した結果全額免除・若年者納付猶予に該当しなかった場合で、一部免除等を希望される方は、改めて申請が必要です。

◆保険料の追納

前年所得以外での全額免除・若年者納付猶予を承認された方(退職などの理由)や一部納付(一部免除)、学生納付特例は、毎年状態を確認する必要があるため、継続申請をすることができません。

◆保険料の追納

保険料の免除や若年者納付猶予を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、受け取る年金額が少なくなります。このため、これらの期間は、10年以内であれば、あとから保険料を納付すること(追納)ができるようになっています。この場合、承認された期間が属する年度から起算して3年度目以降に納付する場合は、経過した年数に応じた一定の加算額が加わります。

きっと、楽しいことが待っている！

鹿児島島の情報

鹿児島県には、有人・無人合わせて約145の島々があるのをご存じでしたか？

豊かな自然環境、特色ある文化に恵まれ、19万人余りの人々がイキイキと生活しています。これらの島々では、フィッシング、スキューバダイビング、サーフィン、ヨットセーリングなどのマリンスポーツに加え、島によってはカヌー体験や、ウォーキング・登山といった体験もできます。

また、温泉がある島もあり、真っ青な海やゆったりとした時間の流れの中で、癒しと安らぎを求めてくる人々も増えています。私達は、これらの魅力をあなたにもっと知ってほしいと思っています。

そこで、「しまのサポーター」会員になりませんか？

(会費等は一切必要ありません)

「しまのサポーター」には、鹿児島島の島に関する観光・ツアー情報、イベント情報、特産品の紹介などのお得な情報を電子メールにより、定期的に配信します。

問い合わせ先

鹿児島県離島振興協議会

TEL 099-206-1026

ホームページアドレス→ <http://www.shima-supporter.com/>

Eメールアドレス→ info@shima-supporter.com

はヤミ小作地は該当しません。
この機会に正式な小作契約をお勧めします。
設定についての相談は農業委員。農業委員会事務局。産業振興課まで気軽にお問い合わせください。

未来の海も青いのでしょうか？

から出る生活排水やポイ捨てされたプラスチックごみ等が河川や下水を通じて海を汚染していると言われています。
この奄美群島のきれいな海を未来に残すために、私達が身近にできることを考え、実行してみましよう。
身近にできること
・ 食器用洗剤の量をできるだけ少なくするために、油分は新聞紙等に吸収させて燃えるゴミで出す。

名瀬海上保安部
0997(52) 5811

次のような事象は名瀬海上保安部までご連絡下さい。
・ 海に油やゴミを捨てる人
・ 船舶を発見したとき。
・ 海岸に廃船や多量の廃棄物が捨てられているのを発見したとき。

保健師だより

六月四〜十日は歯の衛生週間です。今年のスローガンは

「ごちそうさま おはしをブラシに 持ちかえる」

です。前にも紹介したように、私たちの島は、子どもといったい何故!?のんびりした環境で、ついついご飯やおやつのあるものんびりしてしまいませんか？

それとも、みんなでゆらうとおやつが付き物だから？

のんびりするの、みんなでお菓子をいただくのも心が安らぎ、悪いことではありません。

でも、せっかくの楽しいひとときが虫歯や歯周病の原因になってしまふのは残念です。虫歯を予防するにはいくつかのポイントがあります。スローガンにもあるように、まず、①「食べるから磨く」こと。それから頻繁な間食、だらだら食いをせず、②「正しい食生活を送る」こと。③「定期的

目指せ8020

に歯科健診を受ける」ことなど。お子さんであれば、フッ素を取り入れることもおすすめします。歯科医院でのフッ素塗布、家庭でのフッ素洗口等が有効です。子どもさんが甘い物を欲しがったら、甘味成分にキシリトールを使った物を。これはおじいちゃん、おばあちゃんたちにも、ぜひ覚えておいてほしいおやつを与えるコツです。

虫歯や歯周病も他の病気と同じです。まずは予防、そして早期発見早期治療が大切。よい生活習慣を身に付けて、いつまでも、元気な歯でおいしく食事をしたいものです。ね。めざしましょう、八十歳で二十本の歯！

3歳児健診における虫歯のある子どもの割合

	平成15年度	目標
喜界町	56%	平成21年までに50%に
鹿児島県	42%	
全国	31%	

教育委員会のつづら

地域ぐるみで安全対策
学校安全指導員に前底浩喜さん



委員会では児童生徒の安全確保を重要課題としてとらえ、「地域ぐるみ学校安全体制推進事業」を推進しています。

今回教育委員会は前底浩喜氏に学校安全指導員を委嘱し、五月二日、教育長室において委嘱状及び身分証の交付式を行いました。前

近年、全国的に児童生徒が犠牲となる痛ましい事件が発生していることから、県教育

底氏は「スクールガード・リーダー」としての重責はあるが、学校の先生方やPTA会員と



第33回大島地区スポ少競技別交歓大会
喜界地区予選大会

五月十四日～六月四日の四週間にわたり、スポーツ少年団競技別交歓大会喜界地区予選大会が開かれました。優勝した団体・個人は、七月二十三日に奄美市以外で行われる大島地区大会に出場します。結果は次のとおり。

- 優勝 上嘉鉄バレーSP
- 第二位 湾少女バレーSP
- 第三位 荒木SP

- サッカークロケット
- 優勝 湾サッカーSP
- 第二位 上嘉鉄サッカーSP
- 第三位 荒木SP
- ソフトボール競技
- 優勝 上嘉鉄サッカーSP
- 第二位 ガッツ喜界SP
- 第三位 荒木SP
- 剣道競技
- 優勝 早町SP
- 第二位 志戸桶SP
- 第三位 坂嶺校区SP

新しい教育相談員に武藤安子さん



武藤安子教育相談員

連携を図りながら職務を全うしたい」と抱負を述べました。この事業は、警察官OB等を学校安全指導員（スクールガード・リーダー）として小学校（九校）に派遣し、学校の防犯体制を強化するとともに

に登下校時の児童の安全確保のための巡回パトロールを実施するものです。併せて、地域住民等による学校安全ボランティア（スクールガード）を組織し、学校の巡回・警備も行います。

子どもの教育面の相談に応じる教育相談員として新しく武藤安子さんが就任、六月二日、晴永教育長から辞令交付がありました。

教育相談員の任務は、主に小・中学校生の健全な成長を目指して学校や家庭と連携し、ともに子どもの悩みを解決しようとするものです。

武藤相談員は、月・水曜日の八時三十分から十七時まで中央公民館で相談を受け付けています。来所でも、お電話でもかまいません。

社会環境の変化の激しい今日、早めの相談が問題の早期解決につながります。ぜひ、気軽にお子さんのことについてご相談ください。

体育指導員の活用で
健康づくりを

平成18年度指導委に14人

さんも各地域・職場で体育指導員を活用し、健康づくりに努めましょう。

平成18年度
体育指導委員
の紹介

体育指導委員の主な職務は、町民のニーズに応じてスポーツの知識普及および技術の指導を行うとともに、組織の育成、町主催の行事・事業への参加協力です。町民の皆

- 古沼 寛之 (湾 A)
- 岡本 正一 (湾 B)
- 福島 悟 (湾 C)
- 碓山 貴文 (荒木)
- 西原 清仁 (上嘉鉄)
- 武田 秀伸 (阿伝)
- 萩原 昭浩 (早町)
- 濱川 秀司 (志戸桶)
- 吉原 英樹 (小野津)
- 積山 忠久 (坂嶺)
- 東 正人 (滝川)
- 黒田 和代 (一中校区)
- 西岡 恵理 (二中校区)
- 櫻井 令子 (早中校区)

わが家のアイドル



かわ しま れんじゅ
川 島 蓮樹くん (8歳)
あ れん
亜蓮くん (1歳2カ月)

兄貴役が板についてきた兄の蓮樹は、「ししい」だけど、私の代わりに亜蓮を寝かせてくれるそんな優しい心の持ち主。やっとよちよち歩き出した弟の亜蓮は、手荒い兄の扱いにも、いつも笑顔、笑顔。そんな二人にとって笑顔の絶えない人生でありますように… (母)

父=淳 一 母=由美子
(中里)

梅雨入りを告げて咲きいるデ
イゴの花広げし枝は深紅に盛る
林 蓮香
陰ひなたなく働けば天の恵みう
けると亡祖母の寝語り言う
有村 道子
鯉のぼり五月の空に立てし日
も遠く去り孫成人となる
竹田ヨシ子

若葉吹く五月の風に誘われて
鯉のぼりの口雲を呑み込む
平尾 チヨ
県の花つつじ咲き満ち五月来
て群馬潤う頃合いとなる
屋良ミノ子
五月の空縦横無尽の鯉職いつ
か世界の海駆け抜ける
美代 イシ
喜界島に平安時代の遺跡出で
昔を今に思う幸い
郡 市子



表紙写真を募ります

テーマ：喜界島の変遷

応募方法：住所、氏名、年齢、電話番号、撮影日時・場所・コメント(150字以内)を記入し、写真(プリントしたものか画像データ)を郵送で〒891-6292(住所不要)企画課か、電子メールでkoho@town.kikai.g.jp送付。

掲載期間：平成18年6月号から平成19年3月号まで

(広報紙・喜界町ホームページ)

注意事項：自作の写真に限ります。応募写真の著作権などは企画課に帰属します。応募写真は基本的には返却しませんが、希望があれば返却します。なお、全て採用というわけではございませんので、ご了承ください。

榮 氏
岡 邑名
麗 未 赤
菜 な 治 ちゃん
茂 良 保護者
和 治
中 赤 住
里 連 所

こんには
赤ちゃん

浦 伊 上 赤 赤 赤
原 実 嘉 連 連 連
久 鉄 連 連 連
佐 島 友 秋 徳 濱
野 村 岡 山 元 川
ゲ タ ツ ヤ 和 ス
ン ケ ル エ 男 マ
91 105 80 71 62 86
才 才 才 才 才 才



晴れ渡る五月大地に古きより
我が島を訪ふ鷺の舞い飛ぶ
弥島 幸子
はなれ住む五月生れの孫のた
め図書券を買う島の書店に
武田 幸子
ガジュマルに絡みて咲ける
ジャスミンの香り満ちたり五
月の闇に 嶺倉 祝子

重野 泰浩 湾
野間さおり 中里
ごめい福を
お祈りします

いつまでも
お幸せに
新田 萌愛 隆次 志戸桶
勝 昭 昭 赤
藤 晴 晴 連
伊 望 嘉 花
宮 歌 利 川
城 姫 幸 良
上 琉 義 川
地 喜 隆 嶺
高 一 直 川
井 樹 樹 湾
永 芹 昭 中
井 奈 一 熊

.....喜界町の推計人口.....

(平成18年5月31日現在)

世帯数.....3,778戸 (+9)
人 口.....8,521人 (+7)
男4,010人 (+7)
女4,511人 (0)
—— () は前月比——

■寄付金
佐手久 末田 良子

■香典返し
大朝戸 高倉 繁
小野津 重田トメ子
伊実久 島村 文子
赤 連 徳 濱川 岩一
湾 勝夫

■社協だより
志戸桶 吉 はま
湾 肥後 恵基
伊実久 岩本フミエ 85才
中 間 清沢 和子 91才



幹線道路わきのソテツは12本の雄花がびっしり (佐手久)



観光協会主催で初の「喜界町ガーデンツアー」を企画



初の小学生ドッジボール大会

5月の スナップ



満開のデイゴ (花良治公園)



スポ少競技別交歓大会町予選「ソフトボール」。上嘉鉄チームが優勝した



スポ少競技別交歓大会町予選「サッカー」で優勝した湾チーム

▶5月の和牛セリ市



スポ少競技別交歓大会町予選「バレー」で優勝した上嘉鉄チーム